



平成 30 年 3 月期 第 1 四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成 29 年 8 月 4 日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊 TEL 0268-82-3000
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 8 月 10 日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 30 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|------------------|-------|------|------|------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30 年 3 月期第 1 四半期 | 9,317 | 14.0 | 869 | 17.6 | 981 | 577.0 | 694 | 380.4 |
| 29 年 3 月期第 1 四半期 | 8,173 | △4.4 | 739 | △7.2 | 144 | △84.5 | 144 | △80.9 |

(注) 包括利益 30 年 3 月期第 1 四半期 710 百万円 (—%) 29 年 3 月期第 1 四半期 △280 百万円 (—%)

| | 1 株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益 |
|------------------|------------------|-------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30 年 3 月期第 1 四半期 | 34.73 | 34.32 |
| 29 年 3 月期第 1 四半期 | 7.24 | 7.16 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|------------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30 年 3 月期第 1 四半期 | 54,599 | 31,033 | 56.6 |
| 29 年 3 月期 | 53,749 | 30,523 | 56.6 |

(参考) 自己資本 30 年 3 月期第 1 四半期 30,922 百万円 29 年 3 月期 30,411 百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|----------|----------|----------|-------|-------|
| | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29 年 3 月期 | — | 8.00 | — | 10.00 | 18.00 |
| 30 年 3 月期 | — | — | — | — | — |
| 30 年 3 月期 (予想) | — | 13.00 | — | 10.00 | 23.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成 30 年 3 月期 (予想) 第 2 四半期末配当金の内訳 普通配当 8 円 00 銭 創業 70 周年記念配当金 5 円 00 銭

3. 平成 30 年 3 月期の連結業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1 株当たり 当期純利益 |
|--------------|--------|-----|-------|-----|-------|------|-----------------|------|-----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第 2 四半期 (累計) | 18,800 | 4.7 | 1,450 | 2.8 | 1,450 | 81.4 | 900 | 58.6 | 45.03 |
| 通 期 | 37,500 | 2.1 | 2,700 | 7.0 | 2,700 | 33.3 | 1,700 | 15.8 | 85.05 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期1Q | 22,272,000株 | 29年3月期 | 22,272,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期1Q | 2,284,355株 | 29年3月期 | 2,284,355株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期1Q | 19,987,645株 | 29年3月期1Q | 19,958,825株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (会計上の見積りの変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界情勢は、米国や欧州の政治動向に先行き不透明感はありますが、中国をはじめ東南アジア経済は自動車、IT関連を中心に回復基調にあります。わが国経済におきましては、企業収益の改善を背景に雇用情勢等に改善が見られ、景気は緩やかに回復しております。

当社グループが属する射出成形機業界におきましては、国内および海外とも需要は堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機売上が堅調に推移したこと等から売上高合計は93億1千7百万円（前年同四半期比14.0%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上が69億8千8百万円（前年同四半期比11.5%増）、周辺機器売上が7億3百万円（同30.5%増）、営業部品の売上高が13億4千1百万円（同19.3%増）、金型等の売上高が2億8千3百万円（同18.4%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益が8億6千9百万円（前年同四半期比17.6%増）となりました。経常利益は9億8千1百万円（前年同期実績は経常利益1億4千4百万円）となり、これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億9千4百万円（前年同期実績は親会社株主に帰属する四半期純利益1億4千4百万円）となりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

自動車関連を中心に需要が堅調に推移したことから売上高（外部売上高）は45億2千9百万円（前年同四半期比9.3%増）、またセグメント利益は6億9千6百万円（同159.8%増）となりました。

②アメリカ地域

自動車関連の需要がやや伸び悩んだこと等から売上高（外部売上高）は21億4千4百万円（前年同四半期比13.7%減）、またセグメント利益は2億9百万円（同14.4%減）となりました。

③アジア地域

中国でIT関連等を中心に需要が好調だったこと等から売上高（外部売上高）は26億4千3百万円（前年同四半期比71.5%増）となりましたが、価格競争が激化したこと等からセグメント利益は1億4千9百万円（同12.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ8億5千万円増加し、545億9千9百万円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加9億6百万円および商品及び製品の増加4億3千万円ならびに電子記録債権の増加額1億2百万円であり、主たる減少要因は、受取手形及び売掛金の減少5億6千7百万円および未収入金の減少8億5千6百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ3億4千万円増加し、235億6千6百万円となりました。主たる増加要因は、支払手形及び買掛金の増加4億4千6百万円および未払法人税等の増加2億3千9百万円であり、主たる減少要因は、長期借入金の減少2億3千4百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ5億1千万円増加し、310億3千3百万円となりました。主たる増加要因は、利益剰余金の増加4億9千4百万円あります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、平成29年5月12日に公表した各予想値を修正しておりません。今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要な場合には、可及的速やかに開示することといたします。

当社グループといたしましては、コアコンピタスに基づいたイノベーションにより、真のグローバル経営を強化し、グローバル市場への積極的展開による販売増強によりお客様ニーズの変化に対応した商品販売を強化してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,861 | 11,768 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,811 | 8,244 |
| 電子記録債権 | 769 | 871 |
| 商品及び製品 | 7,714 | 8,145 |
| 仕掛品 | 2,474 | 2,355 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,388 | 4,459 |
| 未収入金 | 5,615 | 4,758 |
| その他 | 885 | 1,115 |
| 貸倒引当金 | △530 | △544 |
| 流動資産合計 | 40,990 | 41,174 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,955 | 2,903 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,023 | 1,019 |
| 土地 | 4,598 | 4,593 |
| その他 | 1,170 | 1,837 |
| 有形固定資産合計 | 9,748 | 10,354 |
| 無形固定資産 | 340 | 352 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,435 | 1,511 |
| その他 | 1,242 | 1,209 |
| 貸倒引当金 | △8 | △3 |
| 投資その他の資産合計 | 2,669 | 2,717 |
| 固定資産合計 | 12,758 | 13,425 |
| 資産合計 | 53,749 | 54,599 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 13,860 | 14,306 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,174 | 1,104 |
| 未払法人税等 | 49 | 289 |
| 引当金 | 244 | 335 |
| その他 | 2,113 | 1,981 |
| 流動負債合計 | 17,442 | 18,018 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,266 | 2,032 |
| 退職給付に係る負債 | 3,203 | 3,187 |
| その他 | 314 | 328 |
| 固定負債合計 | 5,783 | 5,548 |
| 負債合計 | 23,225 | 23,566 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,362 | 5,362 |
| 資本剰余金 | 5,477 | 5,477 |
| 利益剰余金 | 20,309 | 20,803 |
| 自己株式 | △1,096 | △1,096 |
| 株主資本合計 | 30,052 | 30,547 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 388 | 441 |
| 為替換算調整勘定 | △51 | △93 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 22 | 27 |
| その他の包括利益累計額合計 | 359 | 374 |
| 新株予約権 | 111 | 111 |
| 純資産合計 | 30,523 | 31,033 |
| 負債純資産合計 | 53,749 | 54,599 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 8,173 | 9,317 |
| 売上原価 | 5,637 | 6,464 |
| 売上総利益 | 2,536 | 2,853 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,797 | 1,983 |
| 営業利益 | 739 | 869 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 1 |
| 受取配当金 | 10 | 90 |
| その他 | 53 | 59 |
| 営業外収益合計 | 65 | 151 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2 | 1 |
| 為替差損 | 625 | 27 |
| その他 | 31 | 9 |
| 営業外費用合計 | 659 | 39 |
| 経常利益 | 144 | 981 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 144 | 981 |
| 法人税等 | 0 | 287 |
| 四半期純利益 | 144 | 694 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 144 | 694 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 144 | 694 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △67 | 53 |
| 為替換算調整勘定 | △443 | △42 |
| 退職給付に係る調整額 | 85 | 4 |
| その他の包括利益合計 | △425 | 15 |
| 四半期包括利益 | △280 | 710 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △280 | 710 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|-------|--------|
| | 日本 | アメリカ地域 | アジア地域 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,145 | 2,485 | 1,541 | 8,173 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 3,518 | 12 | 1,612 | 5,144 |
| 計 | 7,664 | 2,498 | 3,154 | 13,317 |
| セグメント利益 | 268 | 245 | 170 | 684 |

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----|
| 報告セグメント計 | 684 |
| セグメント間取引消去 | 54 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 739 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|-------|--------|
| | 日本 | アメリカ地域 | アジア地域 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,529 | 2,144 | 2,643 | 9,317 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 4,052 | 7 | 1,712 | 5,772 |
| 計 | 8,582 | 2,151 | 4,356 | 15,090 |
| セグメント利益 | 696 | 209 | 149 | 1,055 |

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,055 |
| セグメント間取引消去 | △186 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 869 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成29年8月4日開催の取締役会で、平成29年4月27日付で大阪地方裁判所に民事再生手続開始の申立てを行いましたホンマ・マシンリー株式会社と、同社の全事業の承継を含む事業再生支援を目的とするスポンサー契約を締結することを決議し、同日締結いたしました。

本件スポンサー契約の実行は、大阪地方裁判所の認可を前提としております。

1. スポンサー契約の目的

ホンマ・マシンリー株式会社は昭和21年、本間鑄造所として創業、平成20年に現商号となり、ターニングセンター・五面加工機等の汎用工作機械や大型特殊専用機の製造を手掛けております。

当社は射出成形機およびその関連製品の製造販売を主な事業としておりますが、ホンマ・マシンリー株式会社の大型工作機械等の製造技術や同社のブランド評価を維持しつつ、当社の事業との連携を図る観点から、事業譲渡による事業継承を前提とした支援を行うものであります。

2. 譲り受ける相手会社の名

ホンマ・マシンリー株式会社

3. 譲り受ける事業の内容

大型、超大型NC工作機械の設計・開発、製造、販売

4. 譲り受ける資産・負債の額

現時点で確定しておりません。

5. 譲受けの時期

平成29年8月4日 スポンサー契約締結

平成29年10月2日(予定) 事業譲受日